

2018 Report on Test Takers Worldwide

TOEIC®
LISTENING
&
READING
TEST

目次

TOEIC®バックグラウンドアンケート	2
2018 年 TOEIC® Listening & Reading 受験者の特徴	3
国・地域別平均スコア	4
TOEIC® Listening & Reading Test のスコアの関連	6
カテゴリー別集計	6
年齢	12
性別	13
学歴	14
専攻科目	15
就業状況	16
業種	17
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語能力	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語能力	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Listening & Reading Test の受験経験	27
TOEIC® Listening & Reading Test の受験目的	28
資料 A - TOEIC®バックグラウンドアンケート	29
資料 B - 各設問の回答率	31
資料 C - 地域別リスニング・リーディングスコアの相関	32

TOEIC®バックグラウンドアンケート

TOEIC®バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Listening & Reading Test（以下、TOEIC® L&R）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、そして TOEIC L&R 受験経験についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から受験者のバックグラウンドや、TOEIC L&R スコアと英語能力の向上に影響する要因がわかります。受験者は TOEIC L&R を受ける前に、TOEIC バックグラウンドアンケートに回答します。

バックグラウンドアンケートの設問は添付資料 A を参照してください。

本報告書は 2018 年に世界において全受験者が回答した TOEIC バックグラウンドアンケート結果に基づいています。

アンケート回答者はアジア地域の割合が高く、他の地域の結果を正確に反映していない場合があります。また、質問によって回答率が一定ではないため、本データに基づいた推論を行う際にはご注意ください（添付資料 B）。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し、整数値で表示しているため、合計値が 100%を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 500 以上のものに限定しています。

2018 年 TOEIC® Listening & Reading 受験者の特徴

バックグラウンドアンケートは、2018 年に実施された TOEIC L&R 公開テストおよび IP テスト（Institutional Testing Program：団体特別受験制度）の全受験者を対象に実施しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 年齢層で最も多いのは 21～25 歳（39%）
- 性別では 54%が男性
- 学歴（最終学歴もしくは受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（50%）
- 専攻で最も多いのは「工学」で 27%、「教養学」は 19%、「経営学」は 18%
- 37%が「フルタイム勤務者」で、53%は「全日制学生」
- 就業者の業種では「電機」と「その他サービス」がともに 14%
- 職種では「科学／技術職」が 31%、「事務職」と「マーケティング／販売」がともに 14%
- 80%が「6 年以上の英語学習経験有」
- 英語学習において最も重視される能力として、23%が「リスニングとスピーキング」を選択
- 43%が「日常生活において英語を使用する割合は 1～10%」と回答
- 最も使用する英語能力として、19%が「リスニング」を、32%が「リーディング」を選択
- 34%が英語でのやりとりに「時々苦勞する」と回答
- 11%が「6 ヶ月以上の英語圏滞在経験者」
- 英語圏滞在目的として 30%が「旅行」、29%が「語学プログラムへの参加」と回答
- 40%は「3 回以上の TOEIC L&R 受験経験有」
- 受験目的は「英語学習のため」が 31%、「就職活動のため」と「卒業に必要なため」がともに 24%

国・地域別平均スコア

以下の図 1 は、地域別の平均スコアと標準偏差を集計したものです。次ページの表 1 には受験者の母国別の平均スコアを集計しています。

ただし TOEIC L&R を受験した国・地域とは必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、年間の総受験者数が 500 名以上の国のみを掲載しています。

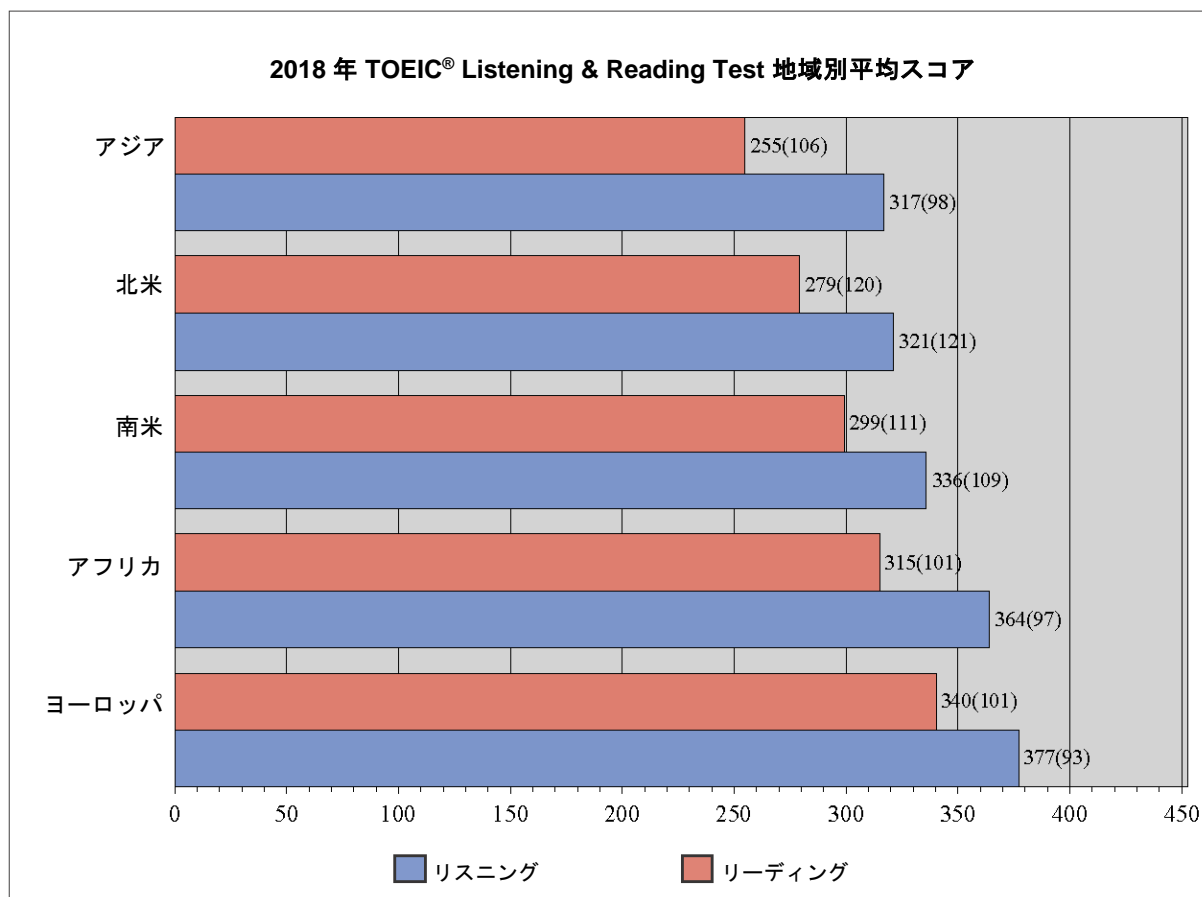


図 1：地域別平均スコア

*注：各チャートには受験者が 500 名以上の国のみ掲載されています。メキシコは北米に含みます。

表 1 : 国別平均スコア

国名	リスニング		リーディング		合計	
	平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
カナダ	460	(51)	411	(71)	871	(114)
チェコ共和国	420	(80)	392	(90)	812	(164)
ドイツ	428	(74)	370	(100)	798	(168)
レバノン	417	(78)	369	(93)	786	(165)
ベルギー	401	(91)	373	(93)	774	(177)
イタリア	393	(77)	374	(81)	767	(151)
フィリピン	390	(76)	337	(90)	727	(158)
フランス	380	(92)	344	(99)	724	(184)
モロッコ	386	(87)	333	(98)	719	(178)
チュニジア	384	(90)	335	(96)	718	(180)
スペイン	366	(99)	346	(100)	712	(192)
ポルトガル	378	(105)	330	(113)	708	(212)
アルゼンチン	369	(113)	338	(117)	707	(225)
マダガスカル	368	(94)	328	(98)	696	(184)
ロシア	367	(103)	317	(115)	684	(213)
コスタリカ	365	(102)	319	(106)	683	(202)
ペルー	357	(94)	318	(95)	675	(181)
韓国	369	(83)	304	(102)	673	(177)
チリ	356	(116)	317	(121)	673	(231)
ヨルダン	369	(105)	301	(113)	671	(213)
アルジェリア	353	(97)	305	(102)	658	(192)
エクアドル	344	(118)	313	(113)	657	(223)
マレーシア	360	(93)	289	(113)	649	(198)
セネガル	344	(95)	294	(94)	639	(181)
カメルーン	338	(100)	294	(97)	632	(189)
ギリシャ	349	(77)	281	(78)	630	(146)
ブラジル	333	(106)	295	(110)	629	(210)
トルコ	346	(93)	279	(109)	625	(195)
コロンビア	326	(112)	295	(111)	621	(217)
レユニオン	330	(105)	287	(112)	618	(211)
インド	333	(102)	275	(108)	609	(198)
ガボン	330	(93)	277	(90)	607	(175)
コートジボワール	320	(97)	286	(97)	605	(187)
ポーランド	329	(115)	272	(124)	602	(232)
グアドループ	320	(109)	272	(111)	592	(214)
中華人民共和国	302	(101)	277	(106)	578	(198)
エルサルバドル	306	(110)	266	(112)	571	(216)
メキシコ	305	(121)	263	(119)	568	(234)
マルティニーク	306	(110)	262	(114)	568	(219)
台湾	305	(99)	249	(104)	554	(195)
ベナン	286	(118)	260	(109)	546	(220)
香港	308	(105)	232	(110)	540	(208)
ベトナム	282	(88)	251	(94)	533	(174)
日本	290	(91)	229	(97)	520	(180)
マカオ	284	(97)	206	(103)	490	(194)
モンゴル	277	(101)	202	(101)	479	(195)
タイ	277	(105)	201	(98)	478	(196)
アルバニア	255	(117)	218	(116)	473	(228)
インドネシア	266	(103)	198	(96)	464	(190)

*SD=標準偏差

TOEIC® Listening & Reading Test スコアの関連

TOEIC L&R スコアの相関値は約 0.86 でした。
（資料 C に、地域別のリスニング&リーディングの相関値を掲載）。これは以前の研究
（Woodford、1982 年など）および『2017
Report on Test Takers Worldwide』で示された

知見と一致しています。それぞれのテストがビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定し、同時に受験者がどちらも均等に学習していると仮定すると、この相関値は双方の関連性が高いことを示しています。

カテゴリー別集計

表 2 は、各受験者層の人数割合（%）と TOEIC L&R およびトータルの平均スコアを示しています。各カテゴリーの受験者の詳細な情報は本報告書の後半に示されています。

本報告書で使用するカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : カテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		合計	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
年齢	26～30 歳	15.0	351	(92)	292	(104)	643	(188)
	21～25 歳	39.0	335	(96)	274	(106)	609	(194)
	31～35 歳	7.5	329	(97)	272	(106)	601	(196)
	36～40 歳	5.3	316	(97)	262	(106)	578	(196)
	41～45 歳	4.1	308	(98)	256	(107)	563	(197)
	46 歳以上	6.0	300	(100)	248	(107)	549	(199)
	20 歳以下	23.1	283	(96)	218	(100)	501	(188)
性別	女性	46.1	332	(97)	266	(107)	598	(197)
	男性	53.9	311	(99)	257	(108)	568	(200)
学歴	大学院	11.6	361	(87)	316	(97)	677	(177)
	大学	49.9	340	(92)	281	(102)	621	(186)
	小学校	0.2	311	(111)	250	(115)	561	(216)
	中学校	0.5	304	(109)	225	(111)	529	(211)
	高校	7.0	287	(105)	221	(110)	508	(207)
	短大	22.6	273	(89)	211	(92)	484	(173)
	専門学校	4.0	270	(100)	198	(97)	468	(189)
	語学学校	1.4	275	(98)	191	(96)	466	(186)
	高専	2.8	256	(86)	178	(81)	435	(159)

*SD=標準偏差

表 2：カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		合計	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
専攻科目	経営学	17.9	332	(98)	279	(108)	612	(199)
	社会学	10.6	332	(96)	276	(106)	608	(194)
	教養学	19.2	336	(95)	268	(107)	604	(194)
	医療関連	5.0	323	(95)	267	(105)	590	(193)
	科学	11.4	319	(94)	268	(103)	587	(190)
	工学	26.7	305	(94)	249	(102)	554	(189)
	その他	9.2	299	(102)	233	(107)	532	(202)
就業状況	非就業者	6.2	367	(84)	304	(98)	671	(174)
	パートタイム勤務者	4.1	341	(103)	284	(112)	625	(208)
	全日制学生	52.6	313	(97)	251	(106)	564	(195)
	フルタイム勤務者	37.1	308	(98)	253	(107)	561	(197)
業種	国際団体	0.1	385	(95)	343	(104)	729	(191)
	教育機関（高校以下）	2.1	368	(91)	319	(101)	687	(185)
	マスコミ	1.0	363	(90)	306	(104)	670	(187)
	教育機関（大学以上）	2.8	355	(98)	305	(111)	660	(202)
	公共事業（電気／ガス）	1.2	350	(91)	306	(100)	656	(183)
	その他	4.1	352	(96)	299	(106)	652	(194)
	医薬品	1.9	333	(90)	285	(99)	618	(181)
	商社	3.0	338	(92)	280	(102)	617	(187)
	金融	5.3	332	(97)	285	(105)	616	(195)
	アパレル	0.4	342	(94)	272	(105)	614	(191)
	政府／役所／公益団体	3.7	331	(96)	279	(106)	610	(194)
	医療	2.2	331	(93)	272	(103)	603	(188)
	保険	1.7	324	(91)	277	(101)	601	(185)
	旅行	2.1	334	(99)	259	(105)	593	(196)
	不動産	0.6	324	(99)	267	(105)	591	(196)
	軍隊／自衛隊	2.5	320	(104)	270	(113)	589	(211)

*SD=標準偏差

表 2：カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		合計	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
業種（続き）	農業	0.6	316	(101)	273	(104)	589	(196)
	食品	1.4	321	(97)	265	(105)	586	(194)
	通信	1.7	321	(91)	261	(103)	582	(186)
	その他サービス	13.6	318	(95)	259	(104)	578	(191)
	小売／卸し	1.7	316	(100)	253	(107)	569	(200)
	運輸	3.6	316	(97)	252	(103)	568	(192)
	その他製造	3.0	305	(103)	248	(112)	552	(208)
	石油	0.9	299	(99)	251	(109)	551	(201)
	ガラス	0.4	300	(93)	250	(100)	550	(186)
	化学	3.9	298	(94)	247	(102)	546	(188)
	建設	2.4	296	(105)	241	(111)	537	(210)
	金属	2.3	286	(93)	236	(101)	522	(187)
	機械	6.6	288	(94)	231	(101)	519	(189)
	自動車	8.0	287	(91)	228	(101)	515	(185)
	繊維	1.0	277	(94)	222	(102)	498	(190)
	電機	14.1	276	(92)	221	(101)	496	(186)
職種	教師／講師	5.0	365	(98)	315	(109)	680	(200)
	経営者	5.3	344	(99)	303	(106)	648	(197)
	専門職	9.2	335	(92)	288	(102)	623	(187)
	サービス業	5.7	338	(98)	275	(106)	613	(195)
	事務職	14.4	334	(98)	275	(107)	609	(198)
	マーケティング／販売	14.3	318	(95)	258	(103)	576	(191)
	技術者	6.1	300	(102)	242	(107)	542	(201)
	科学／技術職	31.2	296	(90)	242	(100)	538	(182)
	その他	8.8	292	(109)	237	(116)	529	(219)
英語学習期間	10 年超	43.9	360	(88)	304	(101)	664	(180)
	6～10 年	35.6	301	(91)	242	(98)	543	(181)
	4～6 年	11.6	276	(94)	212	(97)	488	(182)
	4 年以下	8.9	264	(96)	199	(98)	463	(186)

*SD=標準偏差

表 2：カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		合計	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
英語学習の際に最も重視する 言語能力	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	21.0	359	(95)	304	(108)	663	(196)
	スピーキング	16.0	325	(95)	260	(105)	586	(193)
	リスニング&スピーキング	23.3	326	(94)	259	(104)	585	(190)
	リーディング&ライティング	6.7	315	(97)	267	(108)	583	(198)
	リーディング	17.8	292	(88)	245	(95)	537	(175)
	リスニング	12.3	292	(96)	228	(102)	520	(190)
	ライティング	2.9	282	(103)	227	(111)	509	(207)
日常生活での英語 使用率	51～100%	4.5	390	(86)	332	(106)	722	(185)
	21～50%	12.3	362	(90)	300	(106)	662	(188)
	11～20%	19.6	342	(93)	282	(105)	624	(190)
	1～10%	43.2	312	(94)	254	(102)	566	(189)
	なし	20.4	277	(92)	221	(97)	499	(182)
最も使用する言語能力	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	9.3	371	(91)	312	(108)	683	(192)
	リーディング&ライティング	7.1	344	(94)	292	(106)	636	(192)
	リスニング&スピーキング	15.2	334	(95)	264	(105)	598	(192)
	リーディング	32.3	310	(92)	262	(101)	571	(186)
	リスニング	19.0	308	(100)	244	(107)	552	(200)
	スピーキング	13.6	306	(98)	239	(104)	545	(194)
	ライティング	3.6	298	(101)	241	(108)	540	(202)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	時々	34.3	338	(92)	278	(103)	616	(188)
	あまりない	22.8	324	(99)	266	(109)	590	(201)
	頻繁にある	17.8	322	(89)	261	(100)	582	(180)
	ほとんどない	16.4	296	(105)	241	(112)	537	(211)
	ほぼ常時	8.7	289	(96)	230	(102)	519	(190)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		合計	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
英語圏滞在期間	2 年超～	3.4	419	(78)	355	(101)	775	(172)
	1 年～2 年	2.3	400	(82)	332	(102)	732	(176)
	6 ヶ月～12 ヶ月	4.9	393	(79)	324	(99)	717	(169)
	6 ヶ月未満	24.3	336	(88)	273	(101)	609	(181)
	なし	65.1	302	(95)	246	(104)	548	(191)
英語圏滞在目的	進学のため	18.8	383	(91)	321	(108)	704	(192)
	その他	7.8	380	(95)	312	(111)	692	(198)
	仕事のため	14.3	352	(93)	296	(107)	649	(193)
	英語学習プログラム参加のため	29.4	359	(83)	288	(98)	648	(172)
	旅行のため	29.8	332	(91)	271	(102)	603	(185)
TOEIC L&R 受験回数	3 回以上	40.0	342	(88)	280	(99)	621	(180)
	2 回	12.4	320	(95)	260	(104)	579	(191)
	1 回	18.5	311	(98)	253	(107)	564	(198)
	なし	29.0	299	(104)	245	(113)	543	(209)
TOEIC L&R 受験目的	就職活動のため	23.8	346	(92)	281	(105)	627	(189)
	卒業に必要なため	23.8	314	(101)	258	(110)	571	(205)
	英語学習のため	30.9	313	(98)	255	(106)	568	(196)
	英語学習プログラムの結果を測るため	10.5	310	(98)	252	(106)	562	(196)
	昇進・昇格のため	11.0	295	(93)	236	(101)	531	(186)

SD=標準偏差

年齢

どの国でも TOEIC L&R 受験者の年齢別割合は「21～25 歳」が最も多く（39%）、「20 歳以下」が 23%、「26～30 歳」が 15%、「31 歳以上」が 23%となっています。「20 歳以下」が最も多いのはカナダと香港（70%）、インドネシア（56%）、フィリピン（54%）です。「21～

25 歳」が最も多いのはイタリア（79%）、ベトナム（73%）、マカオとモロッコ（70%）でした。「26～30 歳」が最も多いのはガボン（36%）、セネガル（35%）です。

図 2 は年齢別平均スコアを表しています。

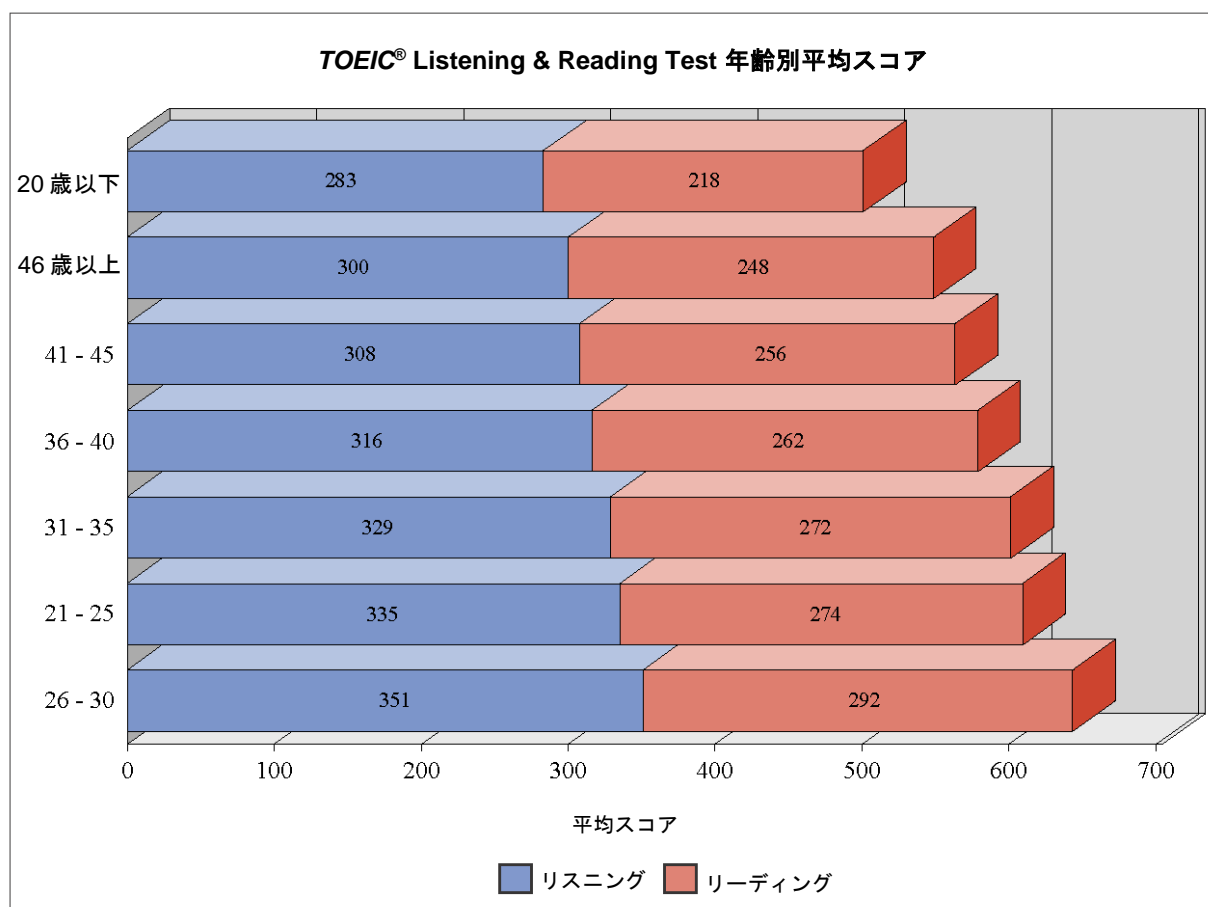


図 2 : 年齢別平均スコア

性別

全体として受験者は男性の割合が多く（表 2 参照）、特に、トルコとヨルダン（69%）、チェコ共和国（66%）、レバノンとセネガル（62%）、日本（61%）などで男性の割合が多くなりました。

一部、女性の受験者割合が男性より高い国がありました。女性受験者の方が多い国は、エクア

ドルとアルバニア（68%）、タイ（65%）などでした。それ以外の国においては男女の受験者割合はほぼ同じでした。

図 3 は、リスニングとリーディングの両方において男性より女性の平均スコアの方が高くなっていることを示しています。

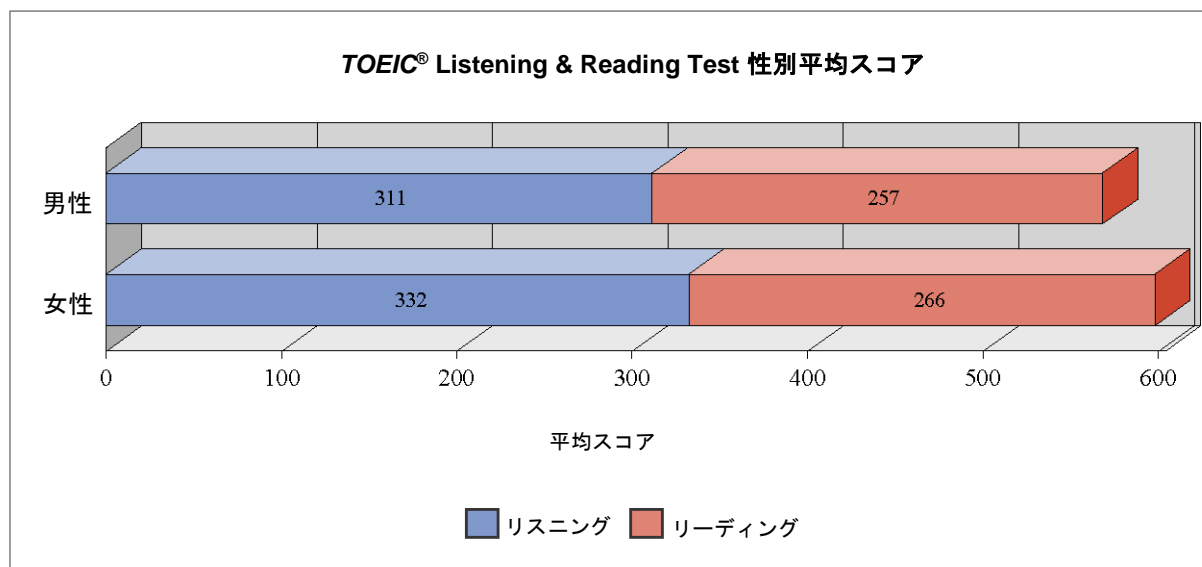


図 3：性別平均スコア

学歴

受験者の多く（50%）はTOEIC®バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が、「大学卒（学士取得）または大学在学中」でした。男性（48%）よりも女性（52%）の方が「大学卒または大学在学中」の割合が高くなっています。一方、女性（9%）よりも男性（13%）の方が「大学院卒または大学院在学中」の割合が高くなりました。

国によって教育システムが異なるため、学歴に

ついて一律に国別で比較することはできませんがタイ（80%）、韓国とフィリピン（77%）、メキシコ（71%）においては「大学卒」の受験者の割合が高いことがわかります。モロッコ（72%）、ガボン、コートジボワールおよびセネガル（70%）では「大学院卒または在学中」の割合が高く、ペルー（76%）とチリ（69%）では、「専門学校卒（高校卒業後取得）」の割合が高くなりました。

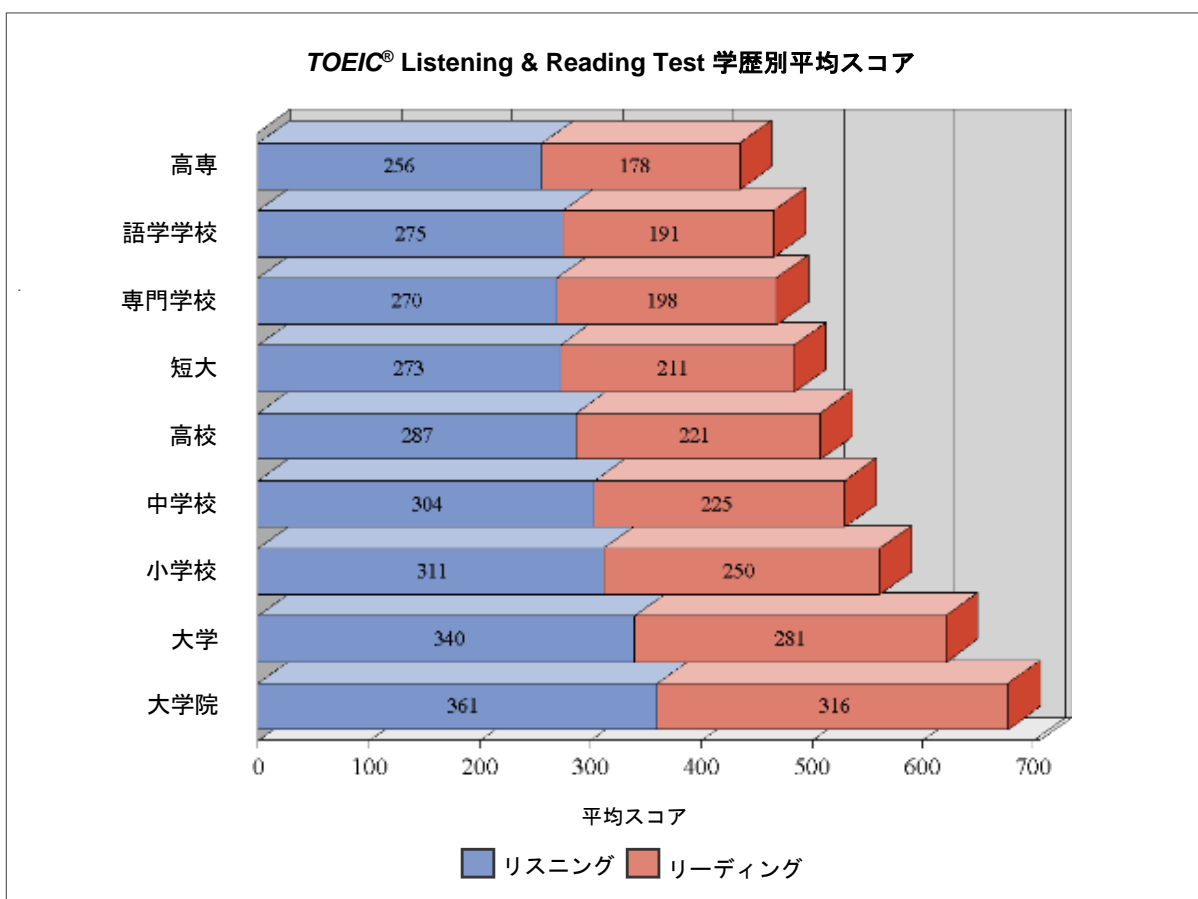


図 4 : 学歴別平均スコア

専攻科目

受験者の専攻科目で最も多かったのが「工学（27%）」でした。工学専攻の受験者が多い国はセネガル（51%）、チュニジアとガボン（49%）、レバノン（48%）となっています。2番目に多い専攻科目は「教養学（19%）」、3番目に多いのは「経営学（18%）」でした。経営学専攻の受験者が多い国はエルサルバドルとコートジボワール（56%）、エクアドル（50%）、アルバニア（48%）、マルティニーク（46%）など。教養学専攻の受験者が多い国

はマカオ（31%）、コスタリカ（29%）、インドとヨルダン（27%）、マレーシア（23%）、日本（22%）などとなっています。

全体として、教養学専攻は男性（10%）よりも女性（31%）の割合が高く、工学専攻は女性（11%）よりも男性（39%）の割合が高くなりました。

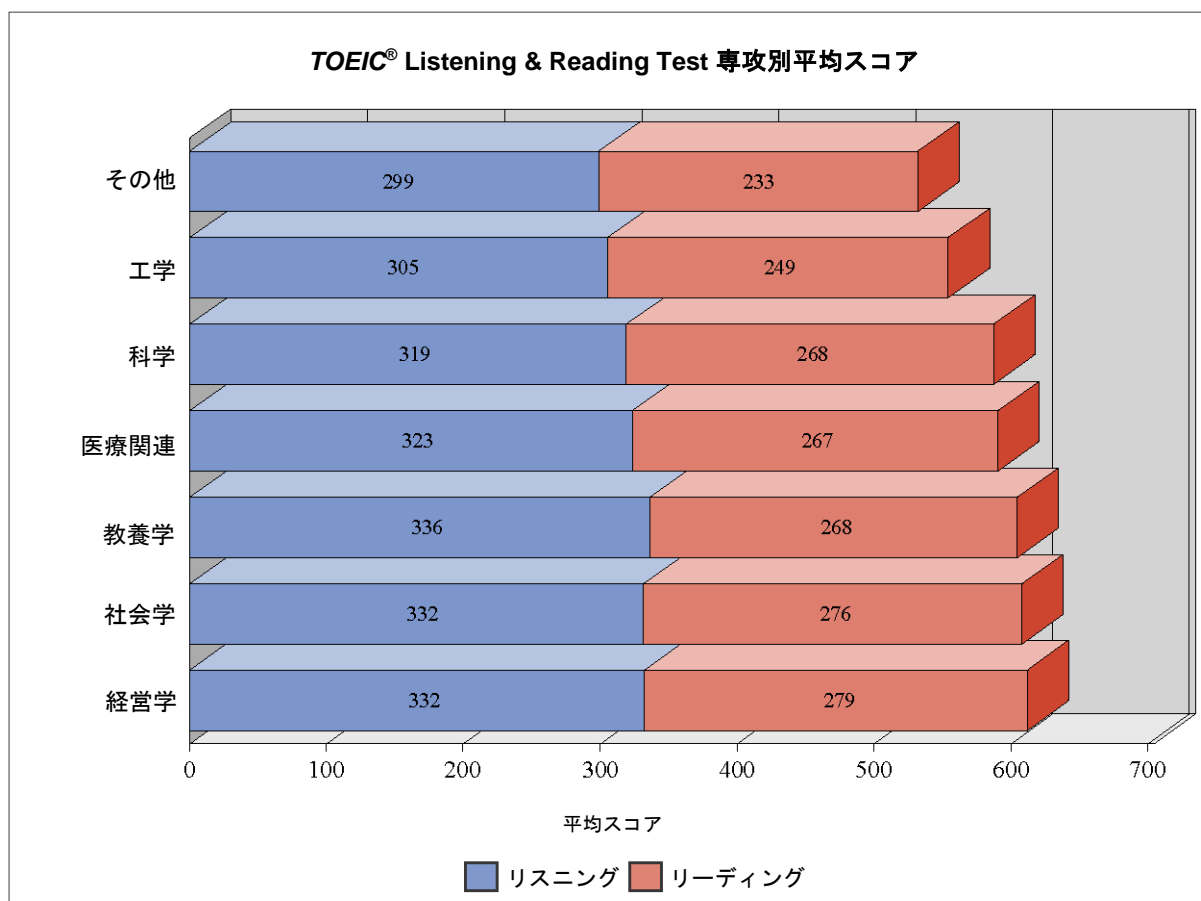


図 5 : 専攻別平均スコア

就業状況

受験者の多くは「全日制学生」（53%）でした。インド（90%）、カナダ（85%）、フィリピン（83%）、香港とマカオ（81%）などで「全日制学生」の割合が特に高くなっています。さらに受験者の38%がフルタイム勤務者です。

ロシア（65%）、ブラジル（62%）では受験者の大半がフルタイム勤務者です。

女性（26%）よりも男性（46%）の方がフルタイムの割合が高くなっています。一方、男性（46%）よりも女性（61%）の方が全日制学生の割合が高くなっています。

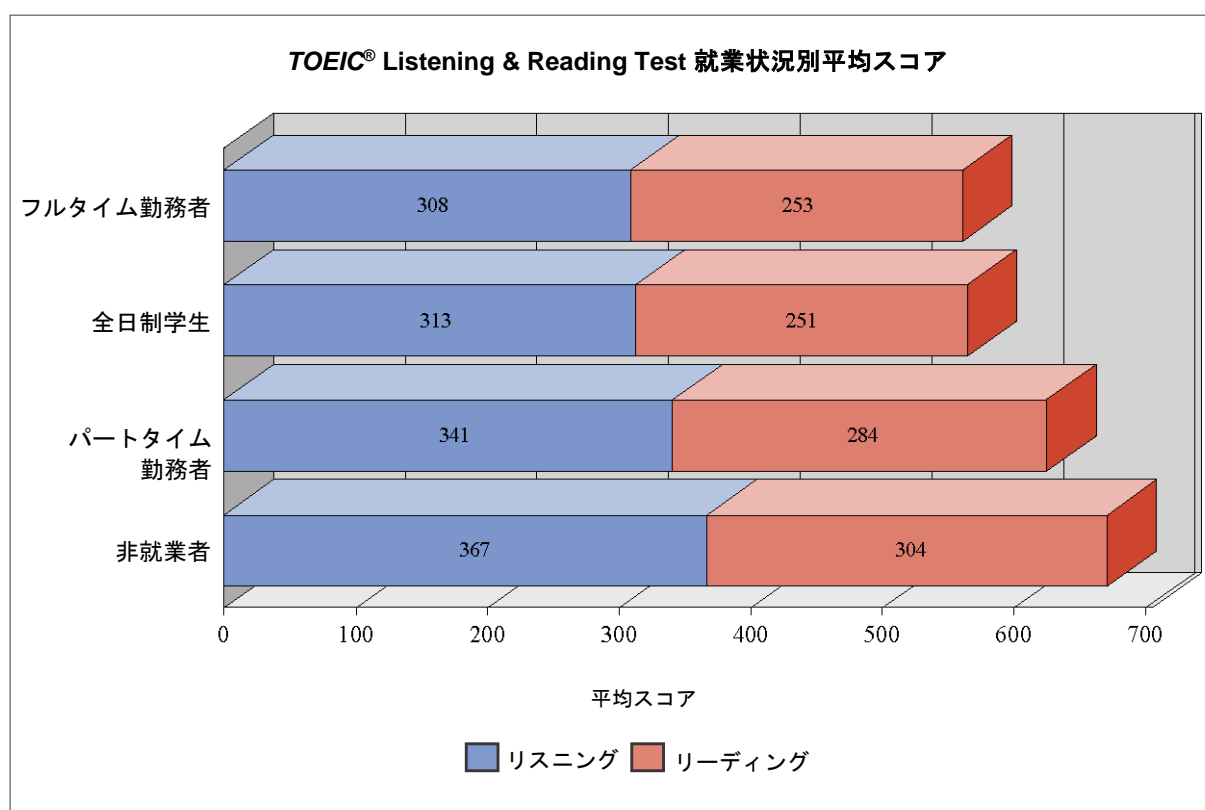


図 6 : 就業状況別平均スコア

業種

表2に見られるように、多くのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図7a（サービス業）、7b（製造業）、7c（サービス業と製造業以外）では、業種別平均スコアを表しました。

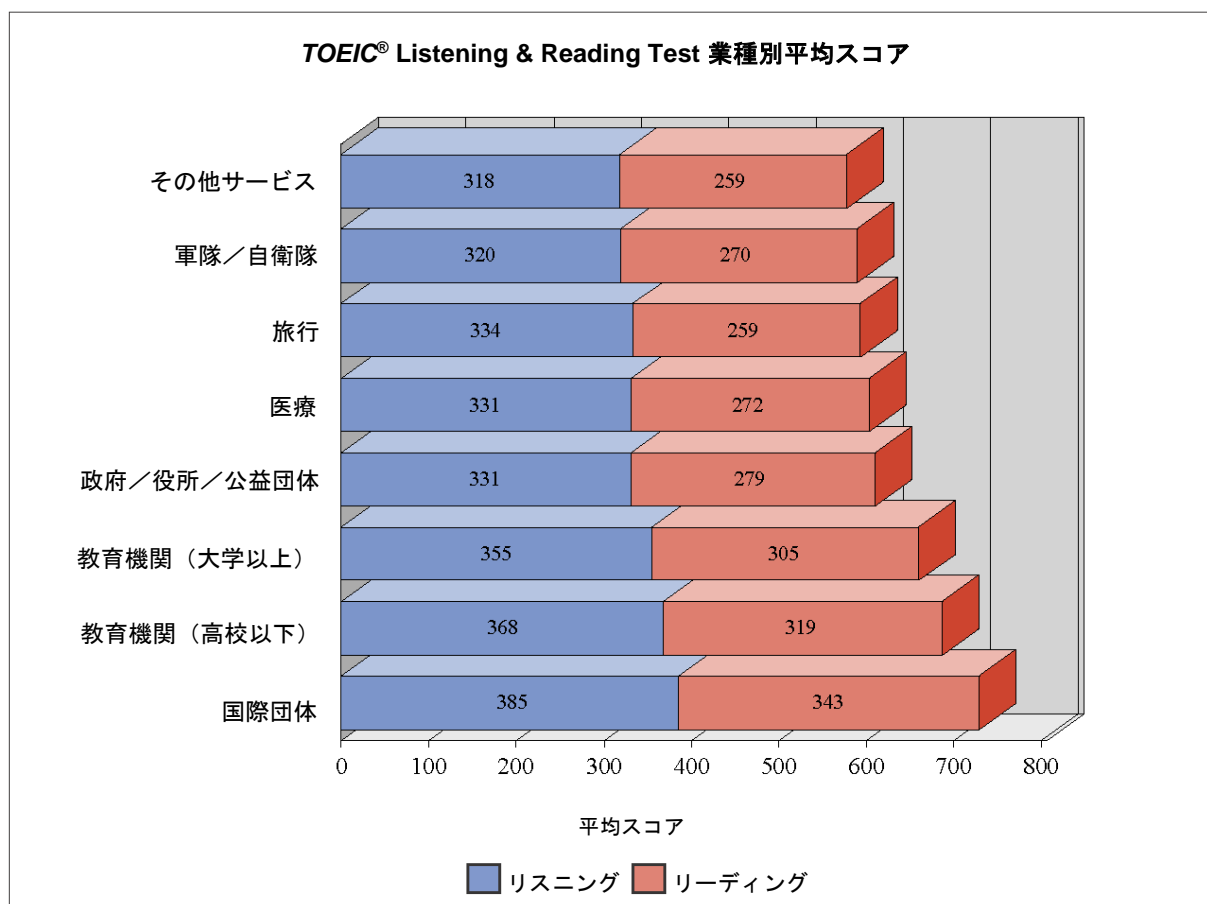


図7a：業種別平均スコア（サービス業）

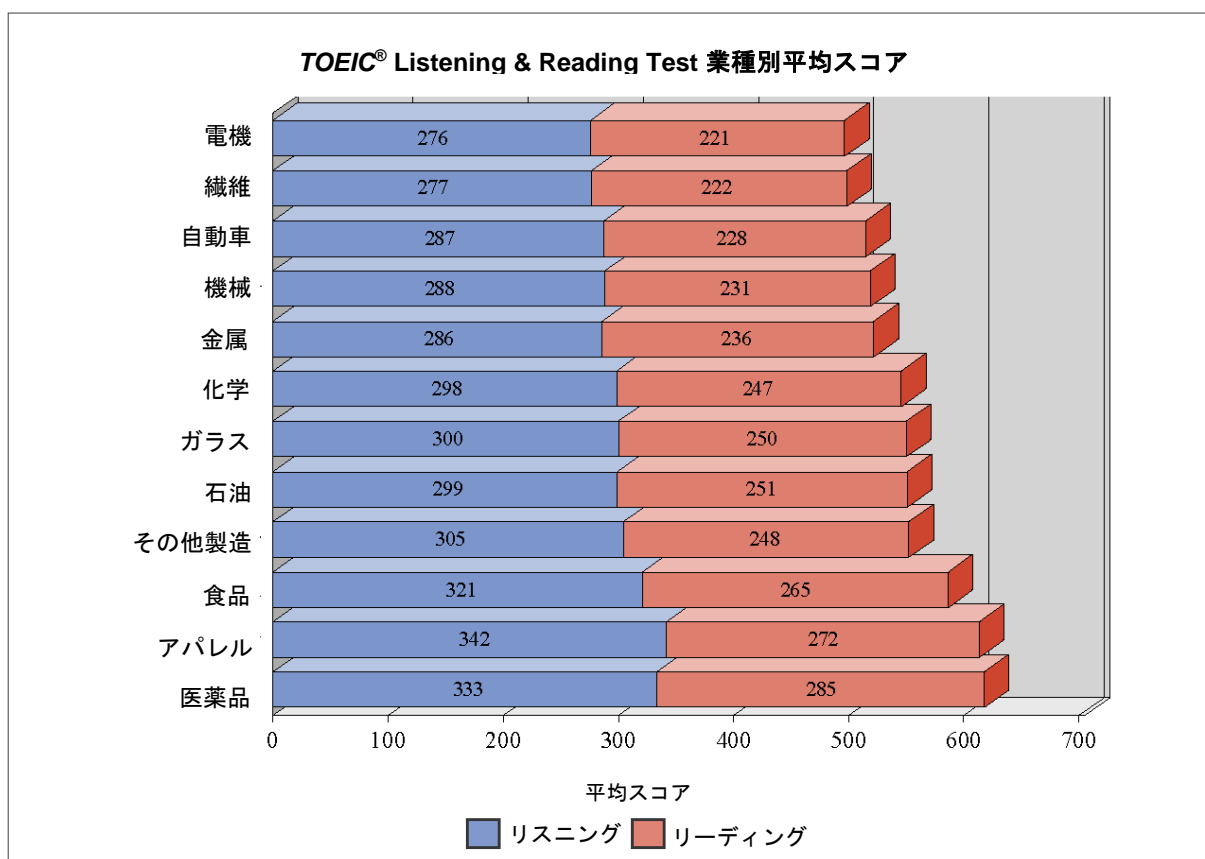


図 7b : 業種別平均スコア（製造業）

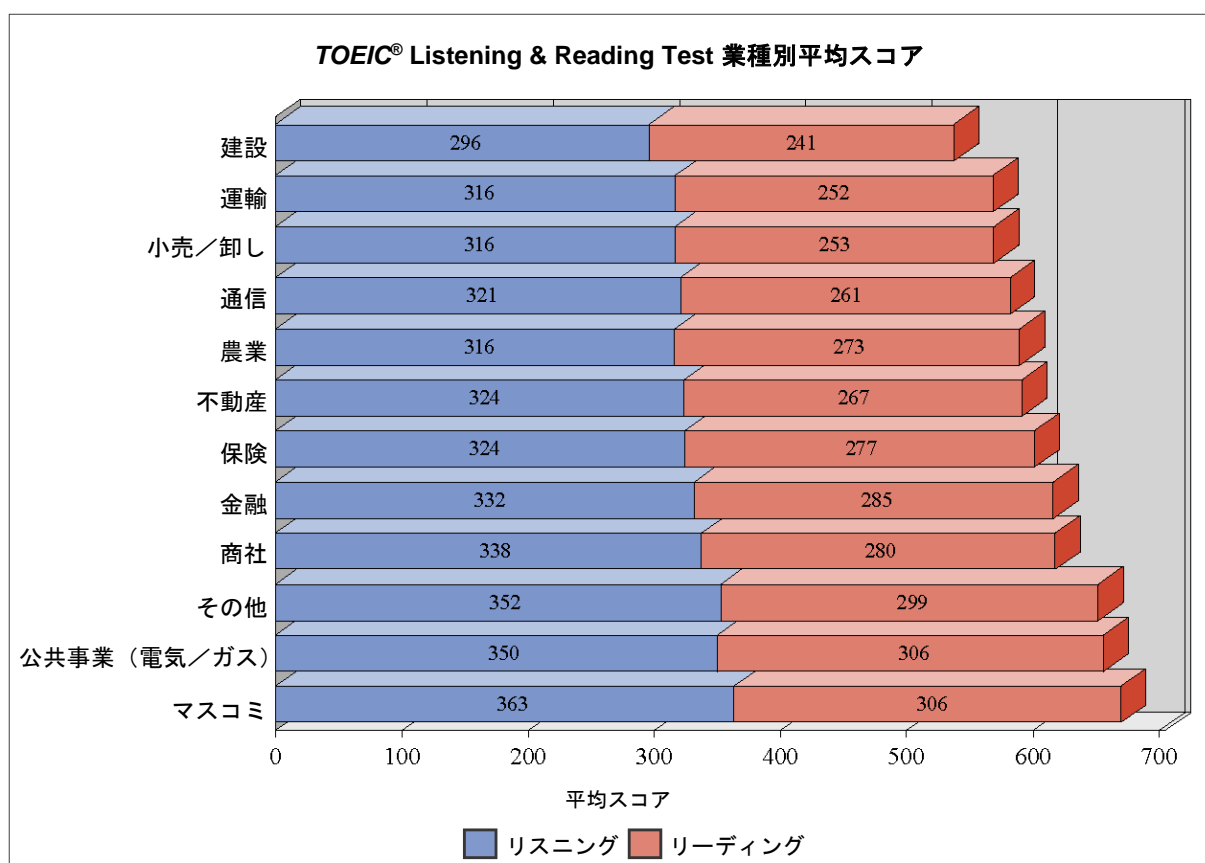


図 7c : 業種別平均スコア（その他）

職種

受験者の職種は、国によって大きく異なります。最も多いのは「科学／技術職（31%）」でした。

「科学／技術職」の受験者が多いのはセネガルとチュニジア（43%）、日本（41%）です。また「管理職」が多いのはエクアドル（63%）で、「教師／講師」が多いのはコスタリカ

（41%）とヨルダン（33%）でした。

全体を見ると、「教師／講師」は女性（10%）が男性（3%）よりも多く、「事務職」も女性（25%）が男性（9%）より多くなりました。「科学／技術職」では男性（39%）が女性（15%）よりも多くなっています。

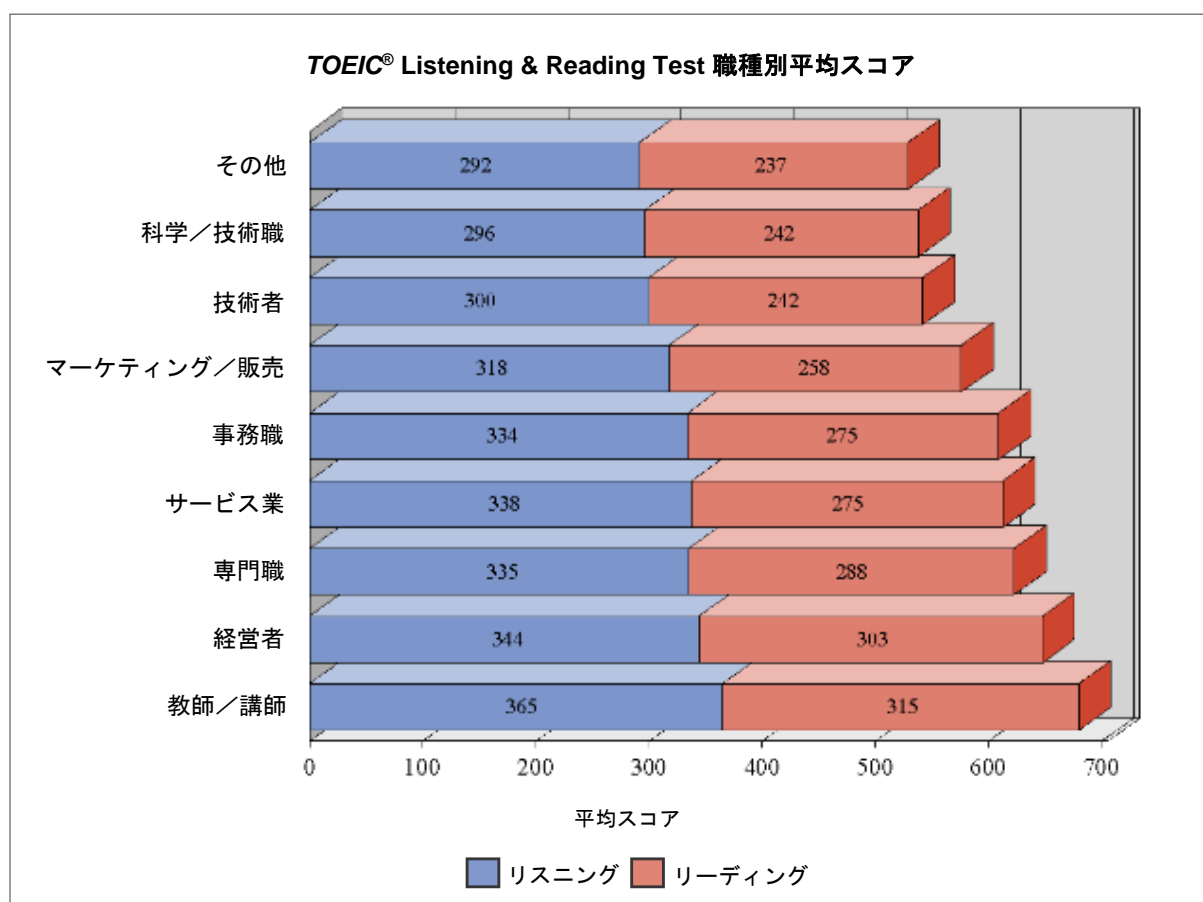


図 8：職種別平均スコア

英語学習期間

2018 年の受験者の英語学習期間のパターンは前年の結果と同様のパターンを示しました。80%の受験者が「6 年以上」英語を勉強していました。

英語学習期間が「4 年以下」の割合が多いのはブラジル（42%）、コロンビア（37%）、モンゴル、ペルーおよびロシア（36%）でした。

一方、「10 年超」英語を勉強している割合が高いのは香港（74%）、インドとマカオ（71%）、マレーシア（70%）などでした。

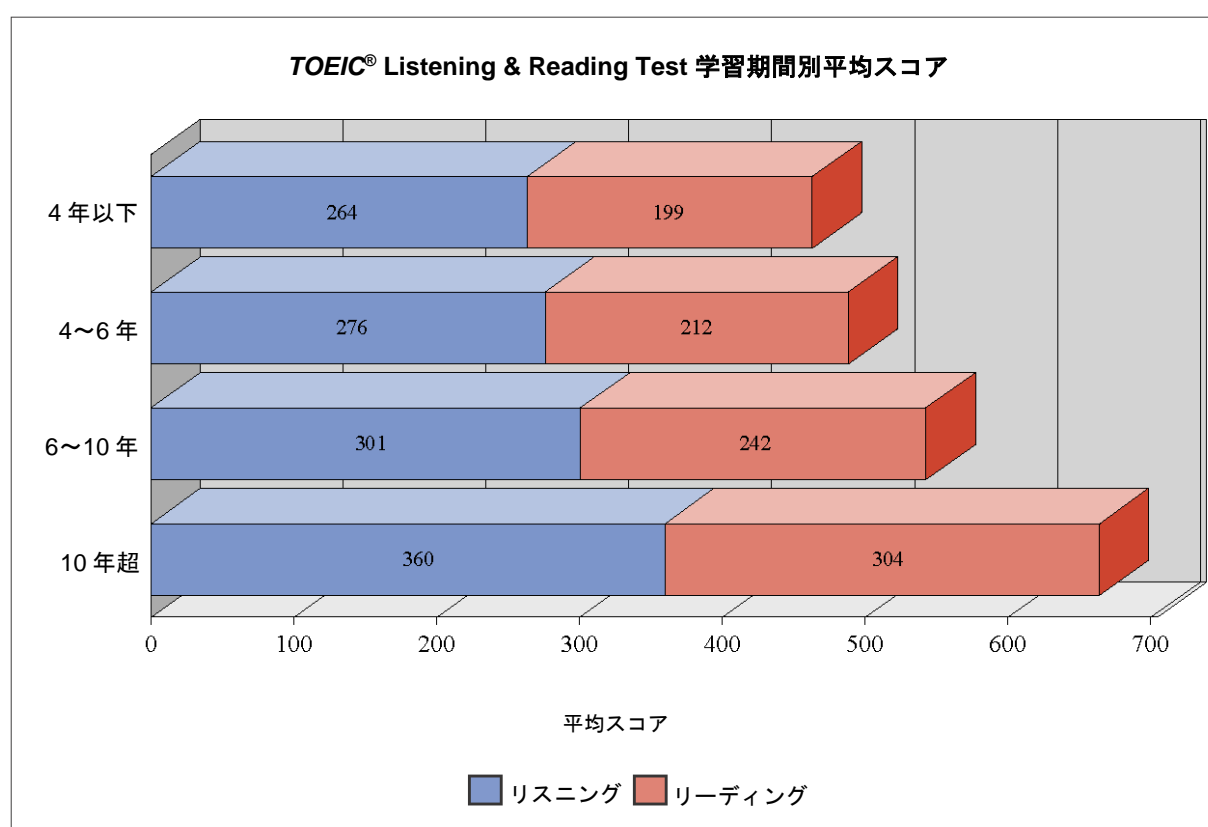


図 9：英語学習期間別平均スコア

英語学習の際に最も重要視する言語能力

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の21%が英語の「4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）すべて」を重要視すると回答しました。これを若干上回る23%の受験者は「リスニングとスピーキン

グ」を重視すると答えました。

カナダ（67%）、インド（55%）、ベルギー（52%）で4技能すべて重要という回答が多くなりました。

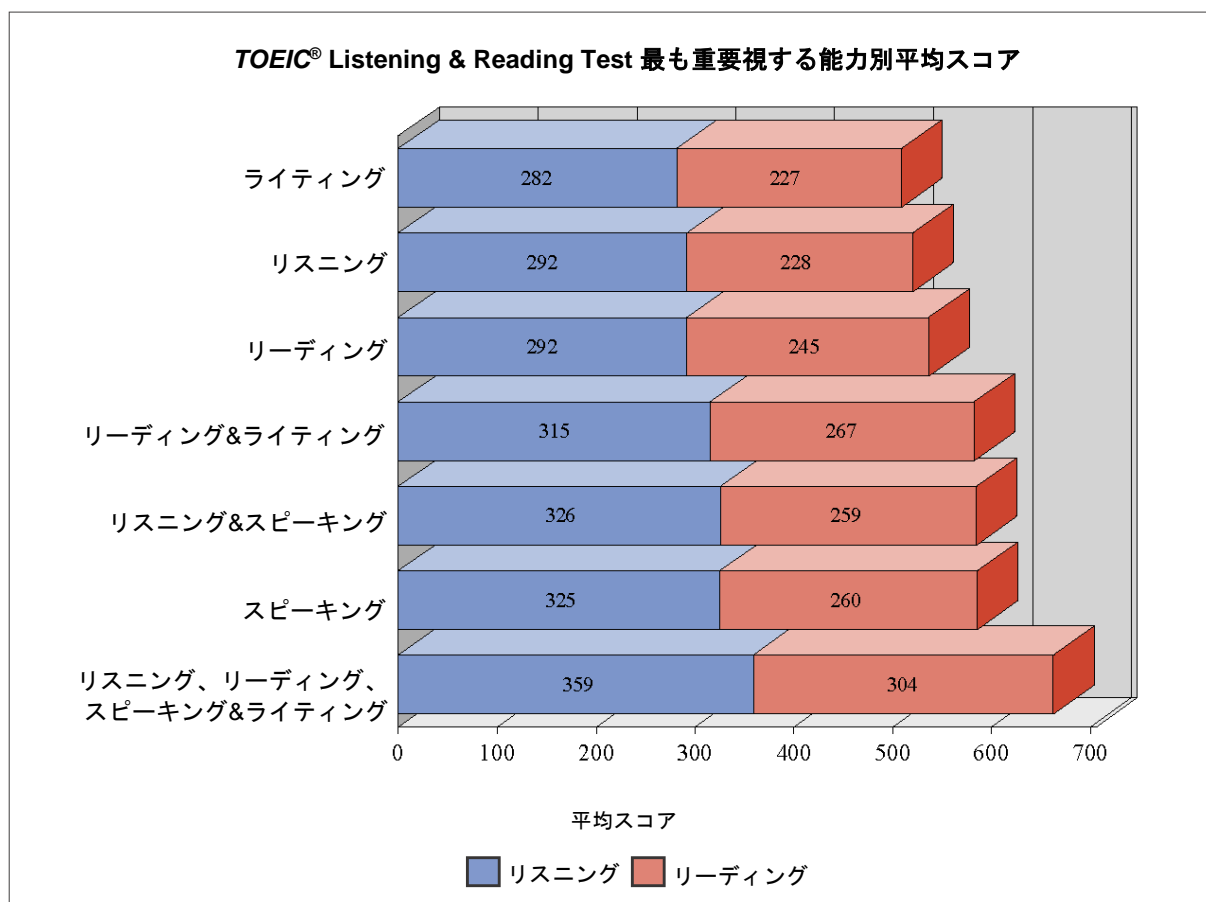


図 10：最も重要視する能力別平均スコア

日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対して、全体の43%が「1～10%の割合」と回答しました。このように回答した受験者が多いのは、日本とマカオ（46%）、香港とマルティニーク（43%）などでした。

「11～20%の割合」で日常的に英語を使用すると答えたのは、ペルー（34%）、エクアドル（32%）、マレーシアおよびモロッコ（31%）でした。「51～100%の割合」で日常的に英語を使用すると答えたのはカナダ（56%）、インド（38%）、ヨルダン（33%）でした。

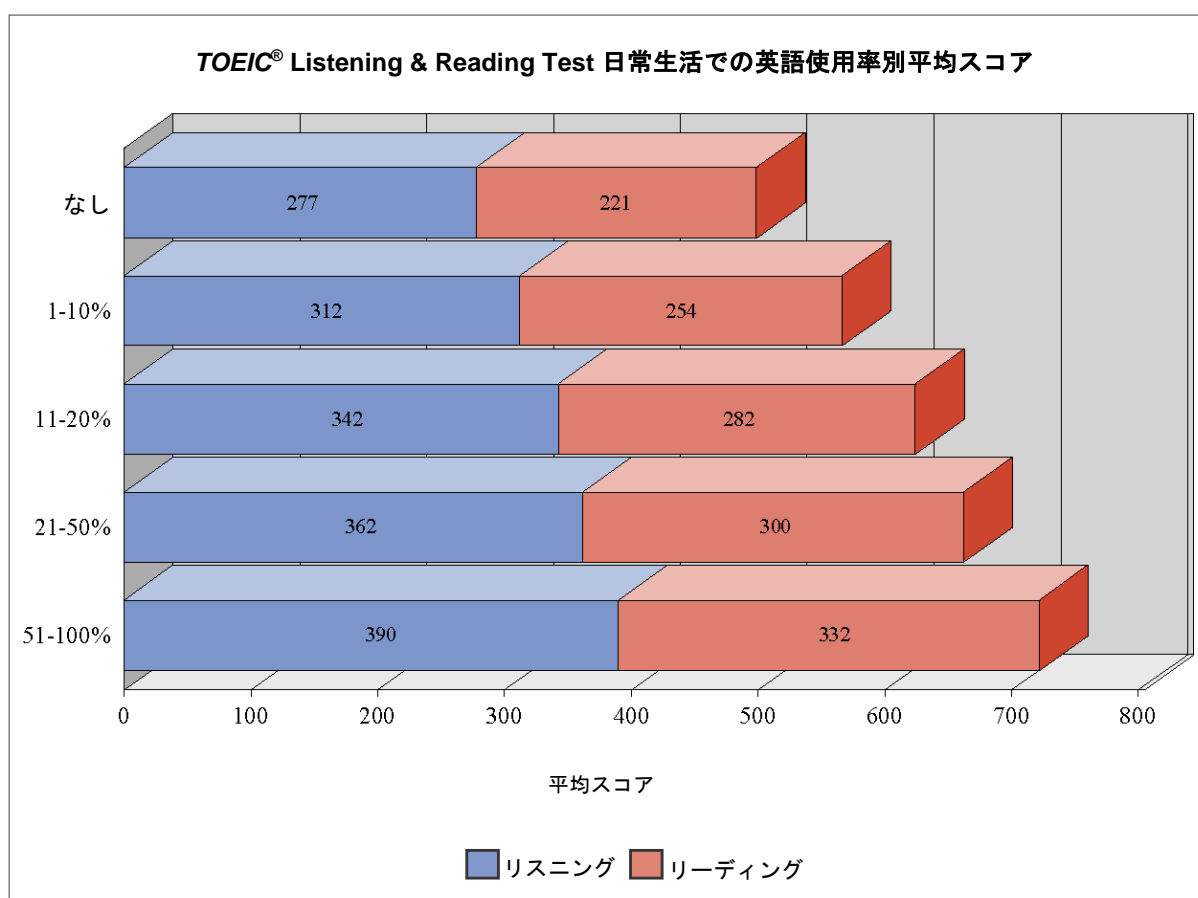


図 11：日常生活での英語使用率別平均スコア

最も使用する言語能力

全体の32%が、最も使用する言語能力として「リーディング」を挙げました。台湾（40%）、ブラジル（39%）、チリと日本（38%）では「リーディング」と回答した割合が特に多くなりました。一方、最も使用する能力として「リスニング」と回答した割合は全体の19%でした。ガボン（38%）、マルティニークとグアドループ（37%）などでは「リスニン

グ」が最も多い回答でした。「4技能全て」を同等に使用していると回答した受験者の割合は9%でした。

全体を見ると、女性より男性の方が「リーディング」を最も使用するスキルとして選ぶ傾向が見られました（男性37%、女性27%）。

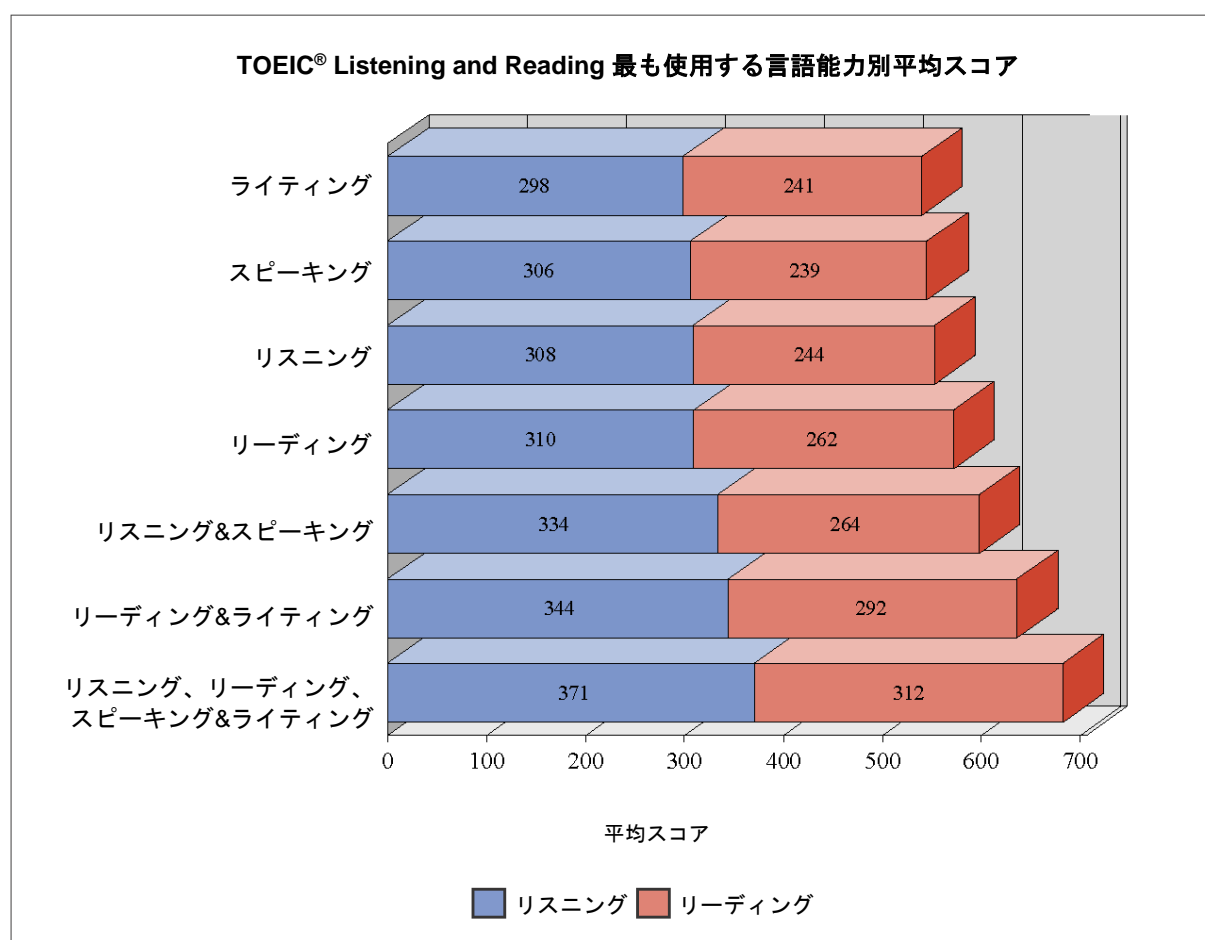


図 12 : 最も使用する言語能力別平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対し、全体の 34%が

「時々」、23%が「あまりない」、18%が「頻繁にある」と答えました。

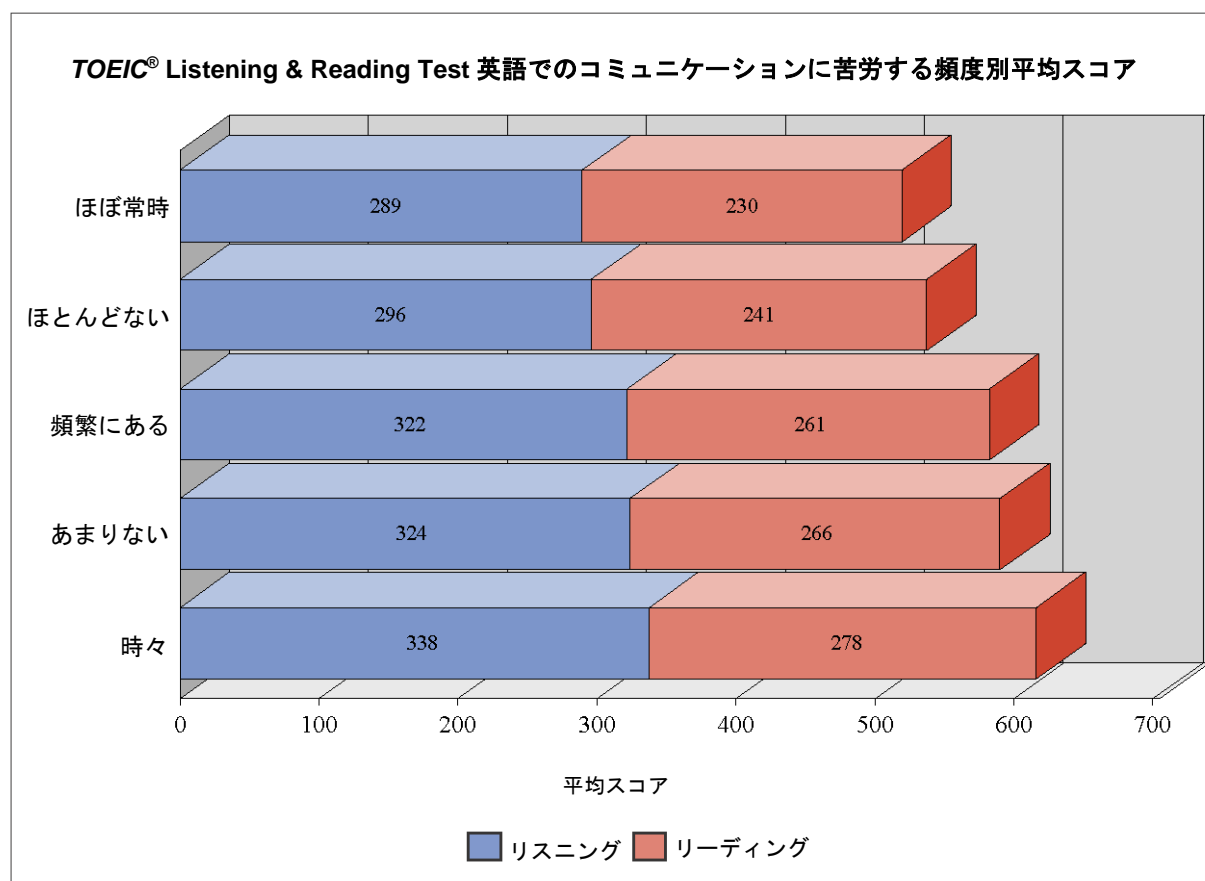


図 13 : 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度別平均スコア

英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対し、「6ヶ月以上の滞在経験がある」と回答した受験者は全体の11%

にとどまり、65%は「英語圏に滞在したことがない」と回答しています。

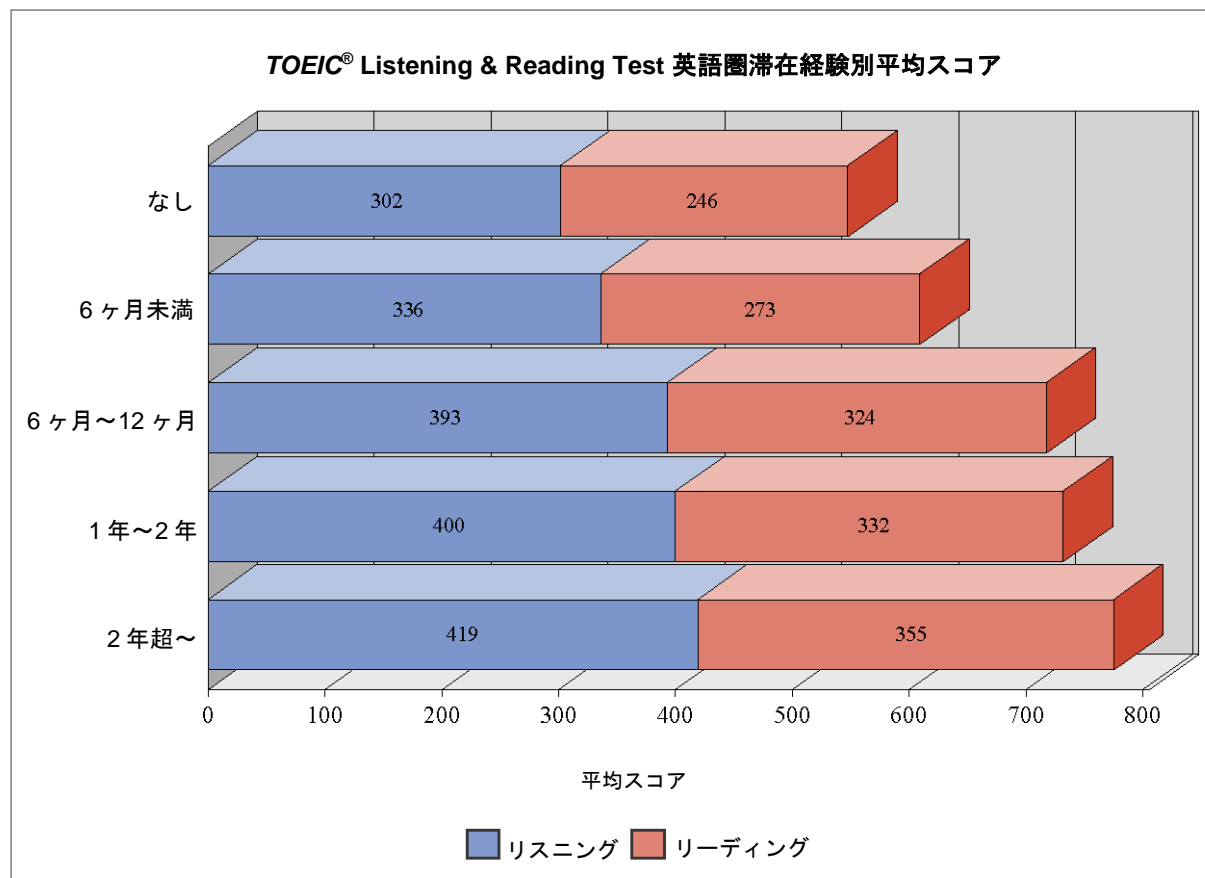


図 14 : 英語圏滞在経験別平均スコア

英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に、30%の受験者が「旅行」と回答しました。また、29%は「語学プログラム参加のため」と回答しました。

「語学プログラム参加のため」という回答は、男性（22%）より女性（37%）が多くなりました。「仕事のため」と回答した割合は女性（7%）より男性（21%）が高くなりました。

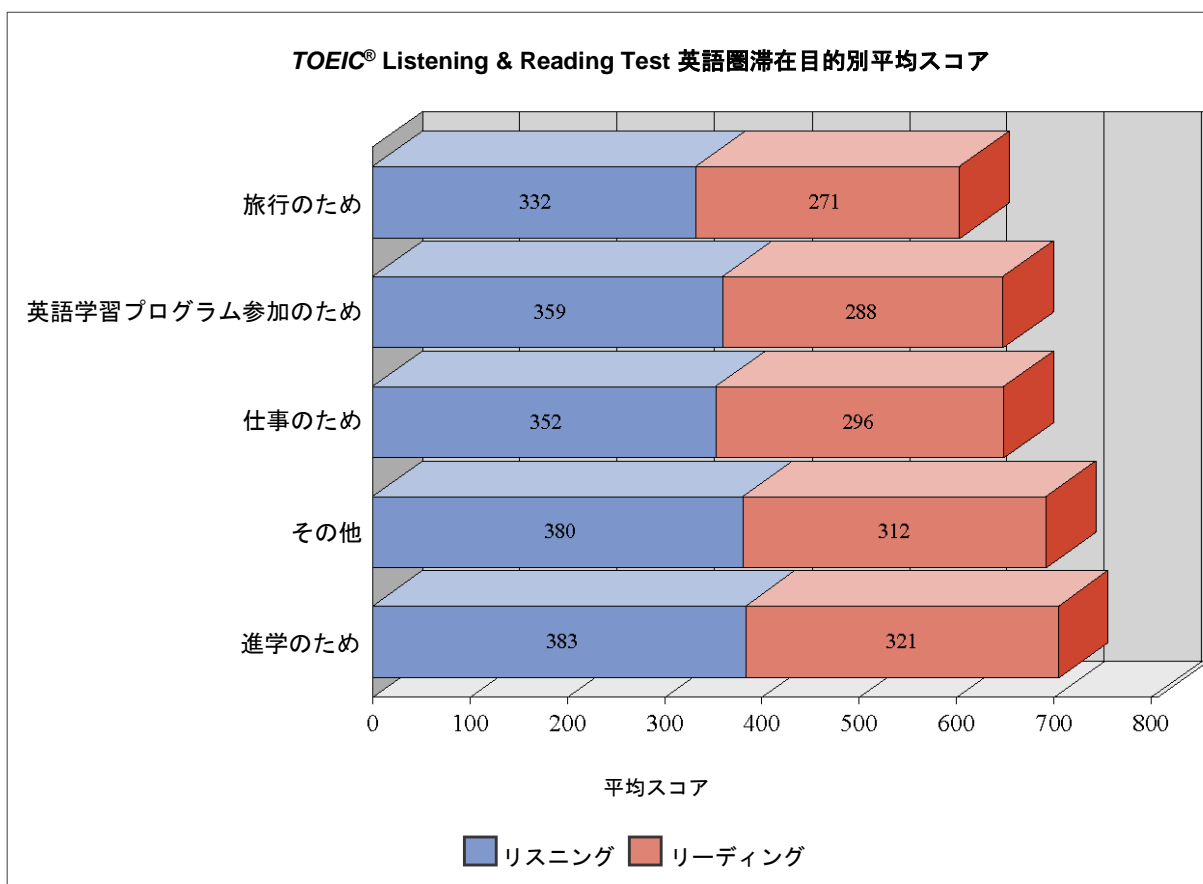


図 15 : 英語圏滞在目的別平均スコア

TOEIC® Listening & Reading Test の受験経験

過去に TOEIC L&R を受験したことのある割合は国によって大きく差が出ました。割合の低い国はインド（8%）とカナダ（10%）、割合の高い国は日本と韓国（77%）でした。

受験者の大半（71%）が以前に TOEIC L&R を受けたことがあり、「3 回以上」受験経験のある割合が 40%と最も高くなりました。

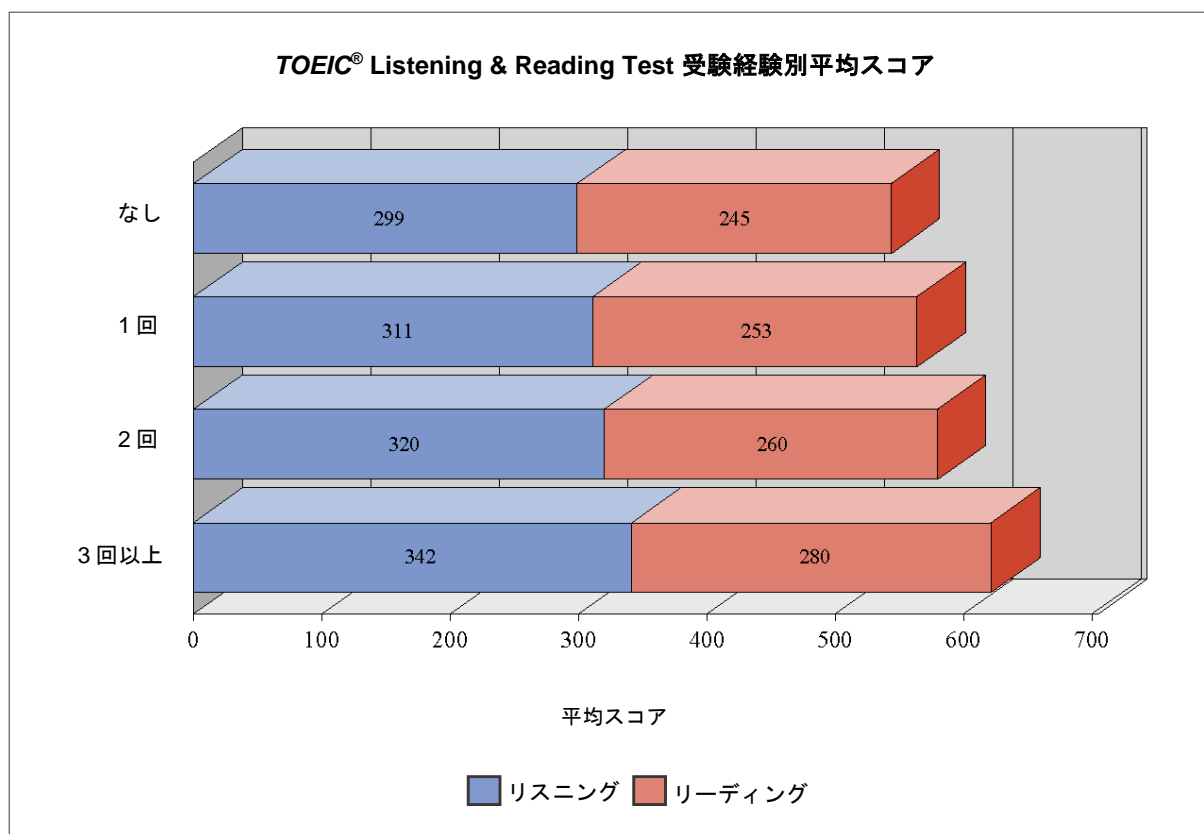


図 16 : 受験経験別平均スコア

TOEIC® Listening & Reading Test の受験目的

TOEIC L&R の受験目的として最も多かった回答は「英語学習のため」（31%）で、次に「就職活動のため」（24%）と「卒業に必要なため」（24%）でした。

タイ（50%）、韓国（45%）、ヨルダン（42%）では「就職活動のため」という回答が特に多くなりました。

「英語学習のため」という回答は日本とエクアドル（42%）、香港（37%）で多くなりました。

「卒業に必要なため」という回答はベナン（86%）、セネガル（78%）、モロッコ（75%）で多くなりました。

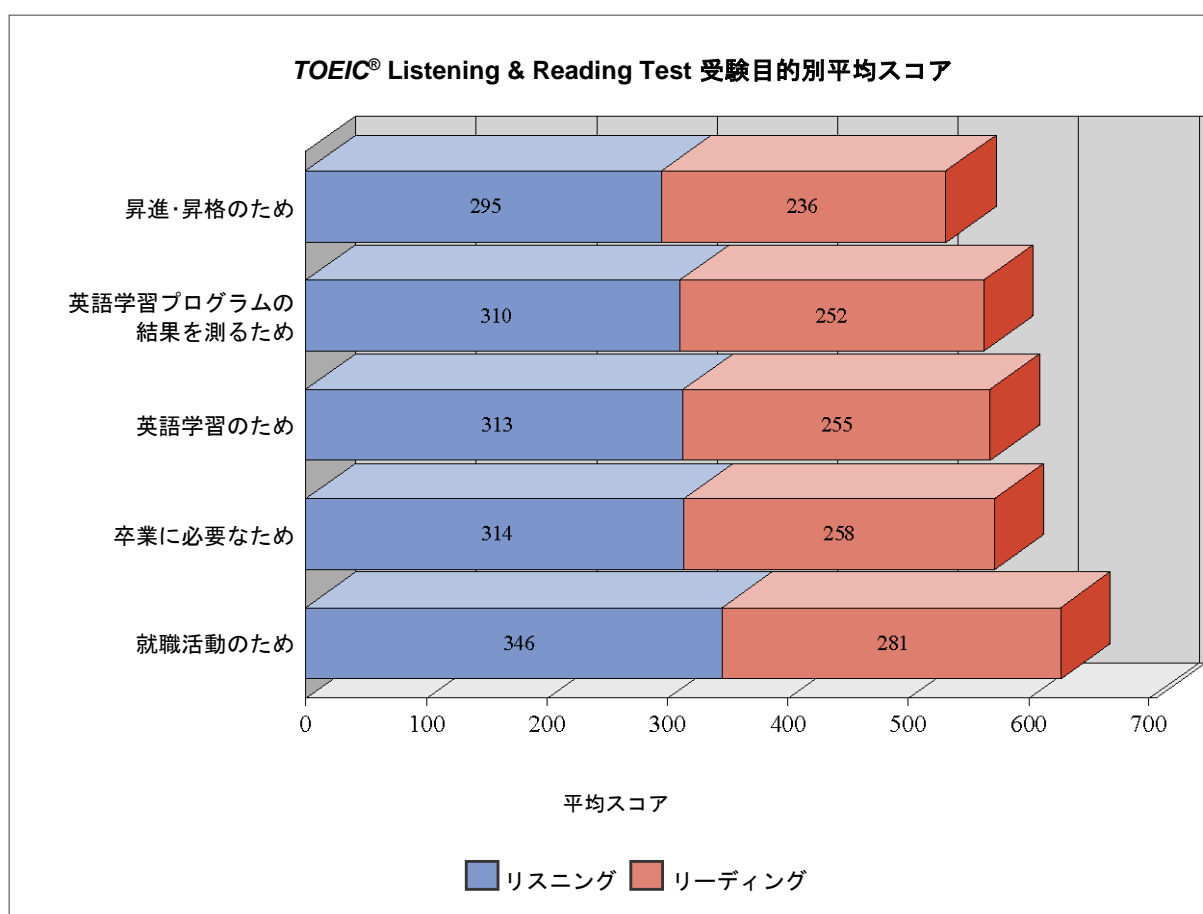


図 17：受験目的別平均スコア

資料 A



TOEIC®

バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクション I.

学歴／職歴

1. 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - A. 小学校
 - B. 中学校
 - C. 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
 - D. 専門学校／高専
 - E. 専門学校／高専（高校卒業後）
 - F. コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
 - G. 大学（学士号）
 - H. 大学院（修士号または博士号）
 - I. 語学学校
2. 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。
（カッコ内記載の科目は例）
 - A. 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
 - B. 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
 - C. 会計／経営／経済
 - D. 財務／マーケティング／貿易
 - E. 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
 - F. 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
 - G. 工学／建築
 - H. その他／なし
3. 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - A. フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
 - B. パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - C. 無職（質問 6 へ）
 - D. 全日制学生（質問 6 へ）

4. 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。

01. 農業／漁業／林業／鉱業
02. 建築／ビル設計
03. 製造 - 食品
04. 製造 - 薬品
05. 製造 - 化学
06. 製造 - 繊維／紙
07. 製造 - 石油／原油／ゴム
08. 製造 - 鋼鉄／その他金属
09. 製造 - 機械／精密機械
10. 製造 - 電機
11. 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
12. 製造 - セメント／ガラス
13. 製造 - 衣服
14. 製造 - その他
15. サービス - 教育（高校レベル以下）
16. サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
17. サービス - 裁判／法規／地方／県
18. サービス - 外務
19. サービス - 軍隊／自衛隊
20. サービス - 保健／病院／医療研究
21. サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
22. サービス - その他
23. 公共事業（電気／水）
24. 放送／マスメディア
25. 通信
26. 小売／卸売
27. 商社
28. 会計／銀行／財務／セキュリティ
29. 保険
30. 不動産
31. 運輸
32. その他

5. 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。

（カッコ内記載の職種は例）

- A. 経営者（役員、管理職、理事）
- B. 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
- C. 教師／講師
- D. 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

Copyright ©2019. 教育試験サービス (Educational Testing Service)、ETS、ETS のロゴ、および TOEIC は、同機関の登録商標です。

資料 A (続き)



TOEIC®

バックグラウンドアンケート
- ページ 2

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
- F. マーケティング/販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
- G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
- H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
- I. その他

セクション II. 英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
- A. 4 年以下
 - B. 4～6 年
 - C. 6～10 年
 - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング & ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
- A. なし
 - B. 1～10%
 - C. 11～20%
 - D. 21～50%
 - E. 51～100%
9. 次の英語能力のうち、最もよく使用するものはどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング & ライティング

10. 英語でのやりとりに苦労する頻度はどのくらいですか。
- A. ほとんどない
 - B. あまりない
 - C. 時々
 - D. 頻繁にある
 - E. ほぼ常時
11. 英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。
- A. なし（質問 13 へ）
 - B. 6 ヶ月未満
 - C. 6 ヶ月～12 ヶ月
 - D. 1 年～2 年
 - E. 2 年超
12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
- A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
 - B. 英語学習プログラム参加のため
 - C. 旅行のため（仕事に無関係）
 - D. 仕事のため
 - E. その他

セクション III. TOEIC L&R 受験回数

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC L&R を受験しましたか。
- A. なし
 - B. 1 回
 - C. 2 回
 - D. 3 回以上
14. 今回の TOEIC L&R の主な受験目的は何ですか。
- A. 就職活動のため
 - B. 昇進・昇格のため
 - C. 英語学習プログラムの結果を測るため
 - D. 将来の学習ニーズを知るため
 - E. 学習中のコース卒業のため

資料 B

各設問の回答率

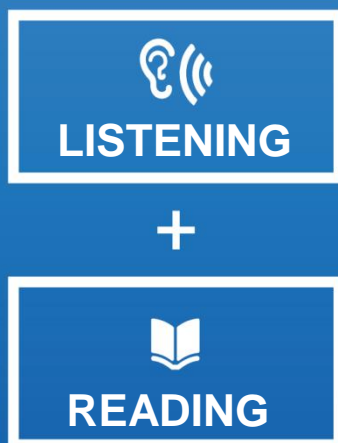
	回答数	回答率
バックグラウンドアンケートの対象者総合計	4,759,552	
学歴	3,783,411	79%
専攻科目	3,435,201	72%
就業状況	3,880,486	82%
業種	1,513,971	95%
職種	1,296,268	81%
英語学習期間	3,449,003	72%
最も重要視する言語能力	3,438,500	72%
日常生活での英語使用率	3,445,394	72%
最も使用する英語能力	3,414,789	72%
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	3,432,815	72%
英語圏滞在期間	3,417,897	72%
英語圏滞在目的	1,182,189	99%
TOEIC L&R 受験回数	3,445,895	72%
TOEIC L&R 受験目的	3,568,095	75%

*注：業種と職種については就業状況に関する別の設問で「パートタイム勤務」もしくは「フルタイム勤務」と回答した 1,598,894 名を対象として回答率を計算しています。英語圏滞在目的については英語圏滞在期間に関する別の設問で「なし」以外の回答をした 1,193,213 名を対象として回答率を計算しています。

資料 C

地域別リスニング・リーディングスコアの相関

地域	相関値
アフリカ	0.86
アジア	0.85
ヨーロッパ	0.87
北米	0.91
南米	0.88



Copyright © 2019 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo, MEASURING THE POWER OF LEARNING and TOEIC are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS) in the United States and other countries. 41950

136161-84543 • UNLWEB519



Measuring the Power of Learning.®

www.ets.org